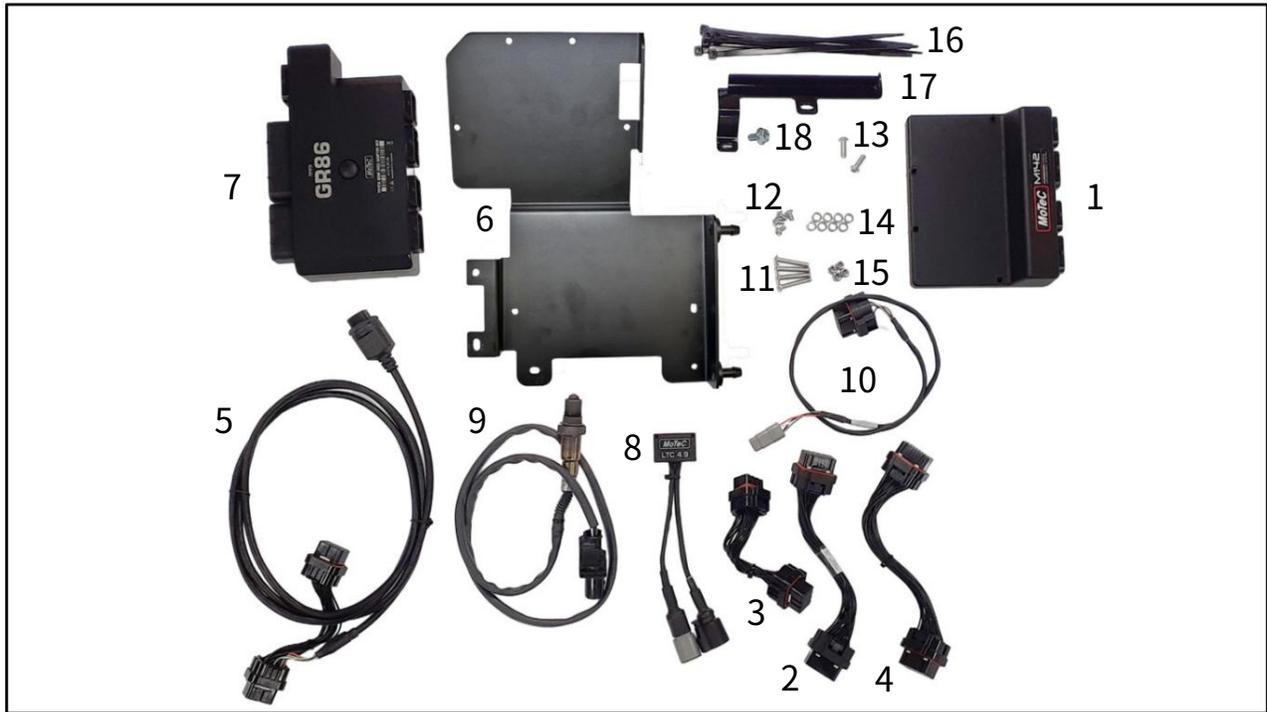




A Bosch Company

## トヨタ GR86/スバル BRZ インストール手順





M142 トヨタ GR86 2022 キットコンポーネント 1.  
MoTeC M142M ECU 2. M1 アダ

プター 150mm スタブルーム A (#61254)

3. M1アダプター 80mm スタブルームB (#61474)

4. M1アダプター 150mm スタブルームC (#61475)

5. M1アダプタ 80mm スタブルームD (イーサネットケーブル) (#61476)

6. トヨタ GR86 マウントブラケット 7. MoTeC

M142 トヨタ GR 86 アダプターボックス 8. LTC - LSU ラ  
ムダからCAN 9. MoTeC LTC 4.9 (Bosch

LSU バージョン)

10. MoTeC トヨタ GR86 2022 ブレイクアウトルーム 11.

M5 x 30mm 六角ボルト 4 本 12. M5 x 8mm

ボタンヘッドボルト 4 本 13. M6 x 15mm ボタ

ンヘッドボルト 2 本 14. M5 ワッシャー 8 個 15.

M5 ナイロックナット 4 個

16. ジップタイ 6 本 17. サポ

ートブラケット 18.

M6 x 16mm フィリップス

六角フランジボルト 1 本

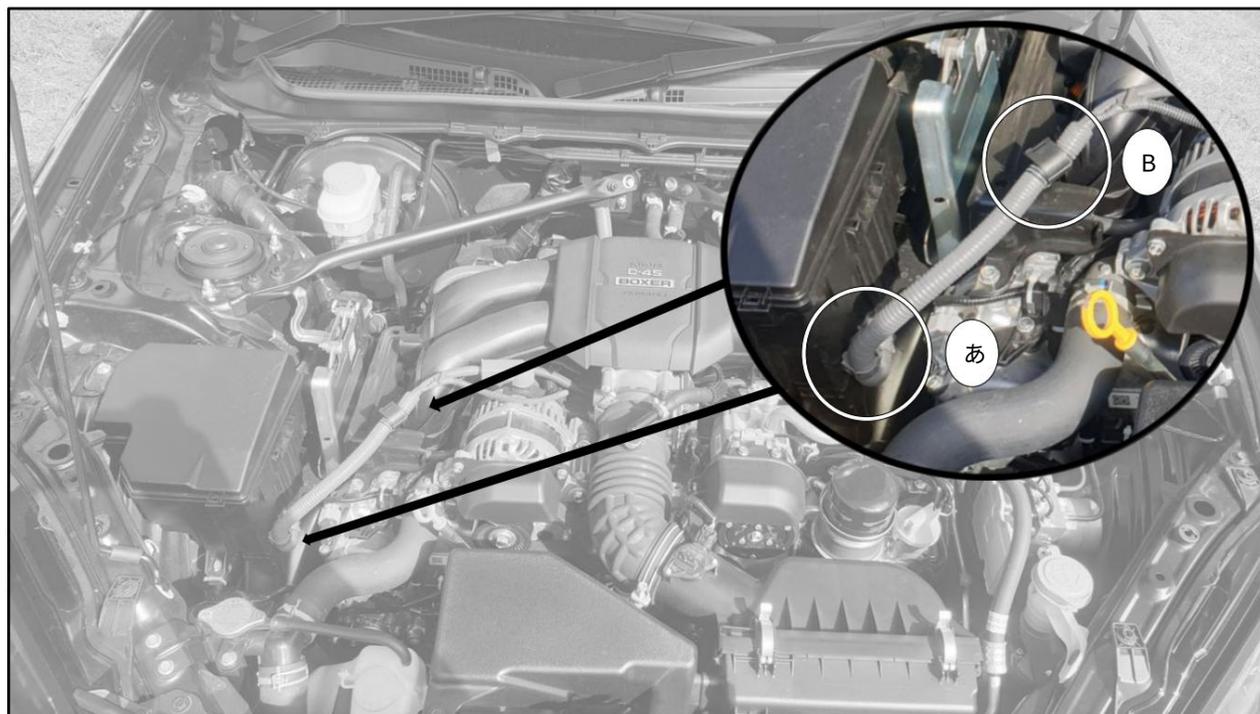
**MoTeC**

A Bosch Company



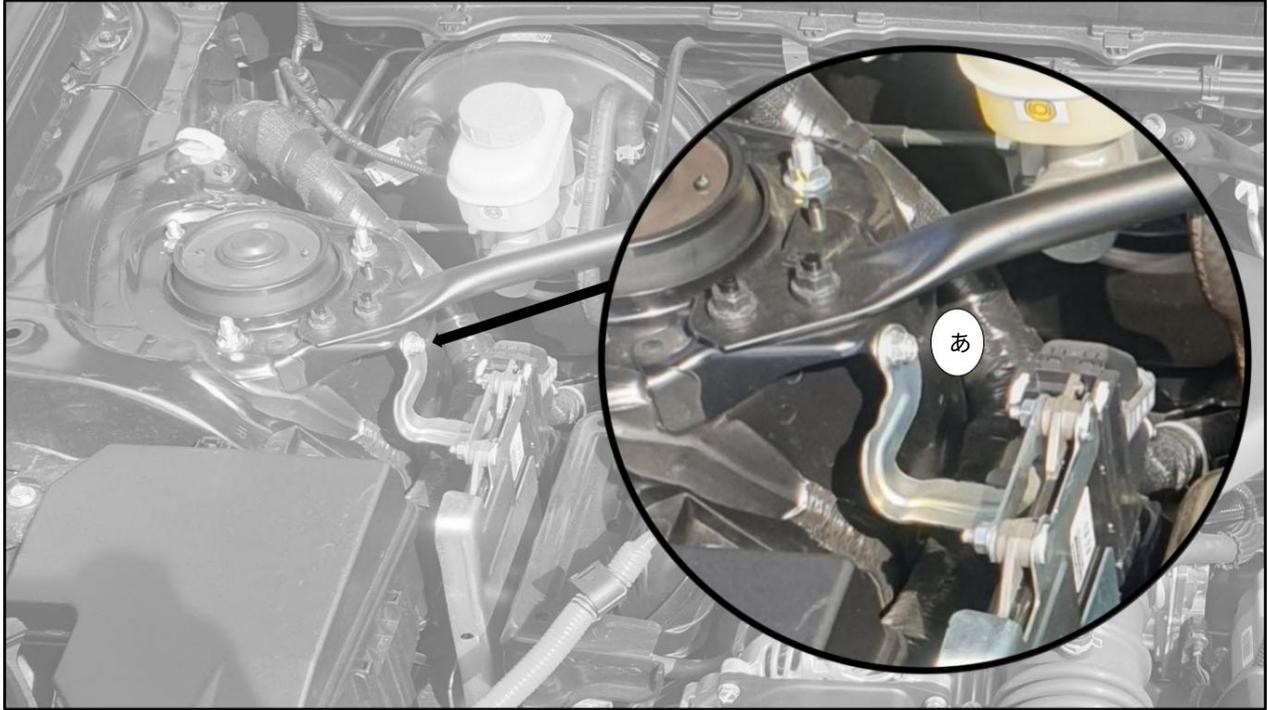
#### 必要なツール

- 3mm六角レンチ
- 4mm六角レンチ
- ラムダセンサー用ソケット
- 3/8インチユニバーサルジョイント
- 12インチ 3/8ソケット延長
- 3/8 ラチェット
- 10mm 3/8ソケット
- 10mmスパナ
- ニードルノーズプライヤー
- マイナスドライバー
- サイドカッター



#### ステップ1

小さなマイナスドライバーまたはペンチを使用して、上図のように、オルタネーター ケーブルをヒューズ ボックス(A)とサポート ブラケット (B)から外します。

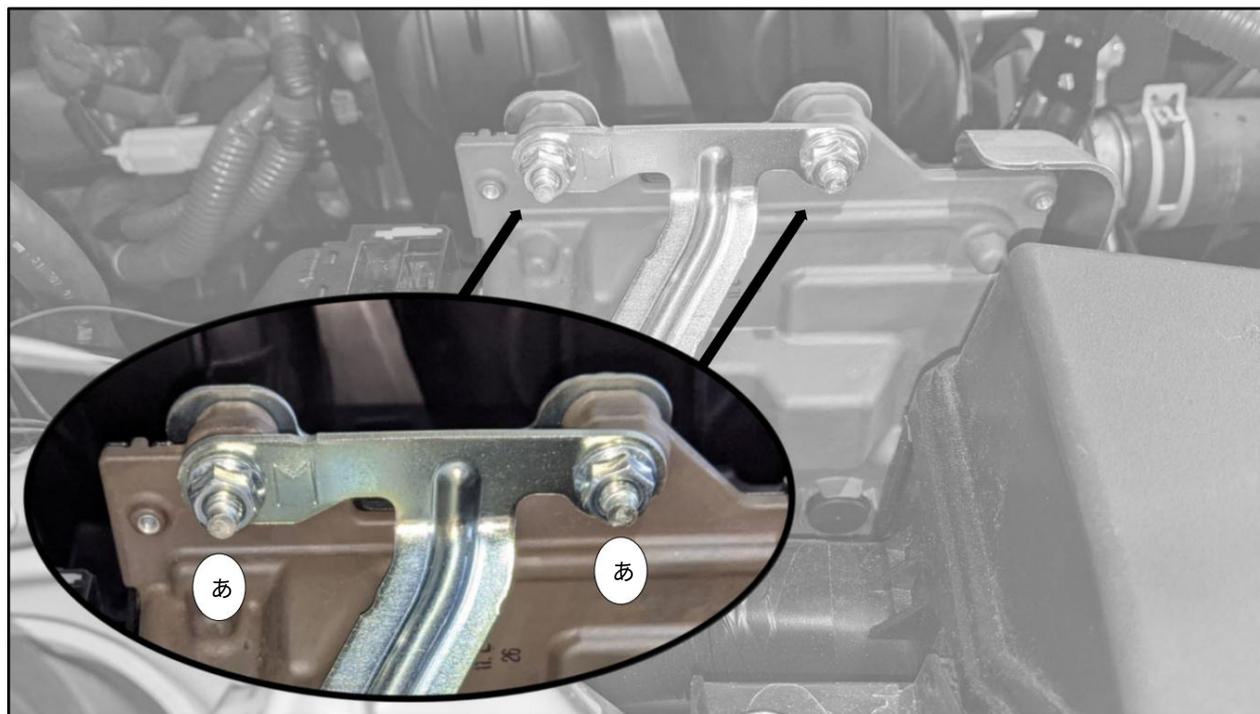


ステップ2

10mmソケットまたはスパナを使用して10mmボルト (A)を取り外します。  
このボルトは再利用するので保管しておいてください。



A Bosch Company



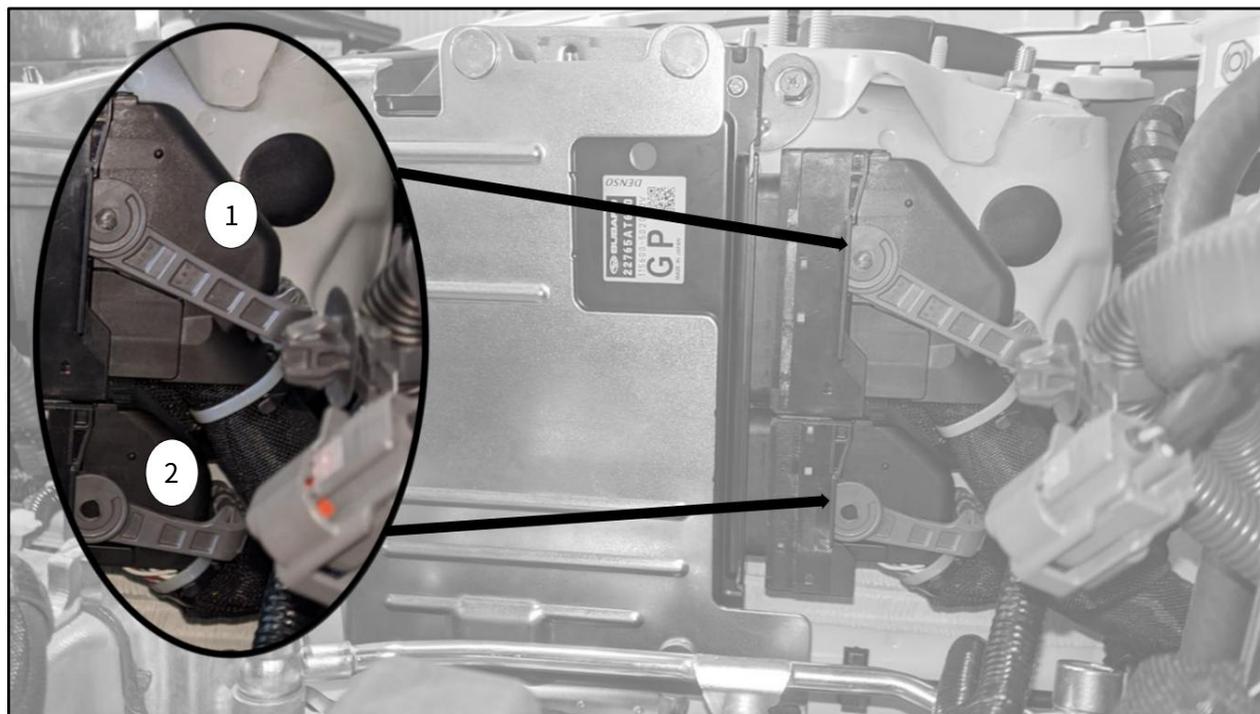
### ステップ3

10mmソケットまたはスパナを使用して、2つの10mmナット (A)を取り外します。

これらのナットとブラケットは再利用するため保管しておいてください。

**MoTeC**

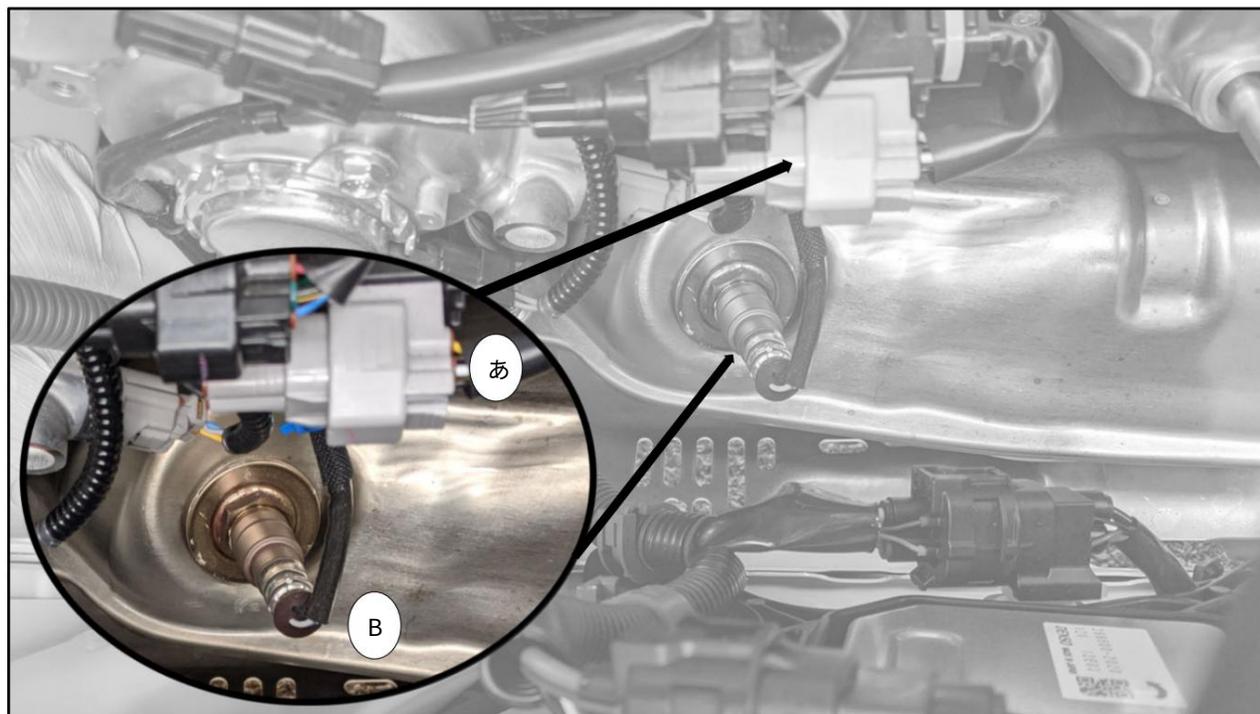
A Bosch Company



#### ステップ4

上記の順序でECUコネクタを取り外します。タブを押し下げ、灰色のレバーを上には動かすと取り外せます。

ECUは上方に持ち上げることで車両から取り外すことができます。ECUの下部は2つのゴム製グロメットでブラケットに固定されているため、取り外しが少し難しい場合があります。ECUを傾けながら取り外すと、取り外しやすくなります。



#### ステップ5

OE ワイドバンド センサーを取り外します。

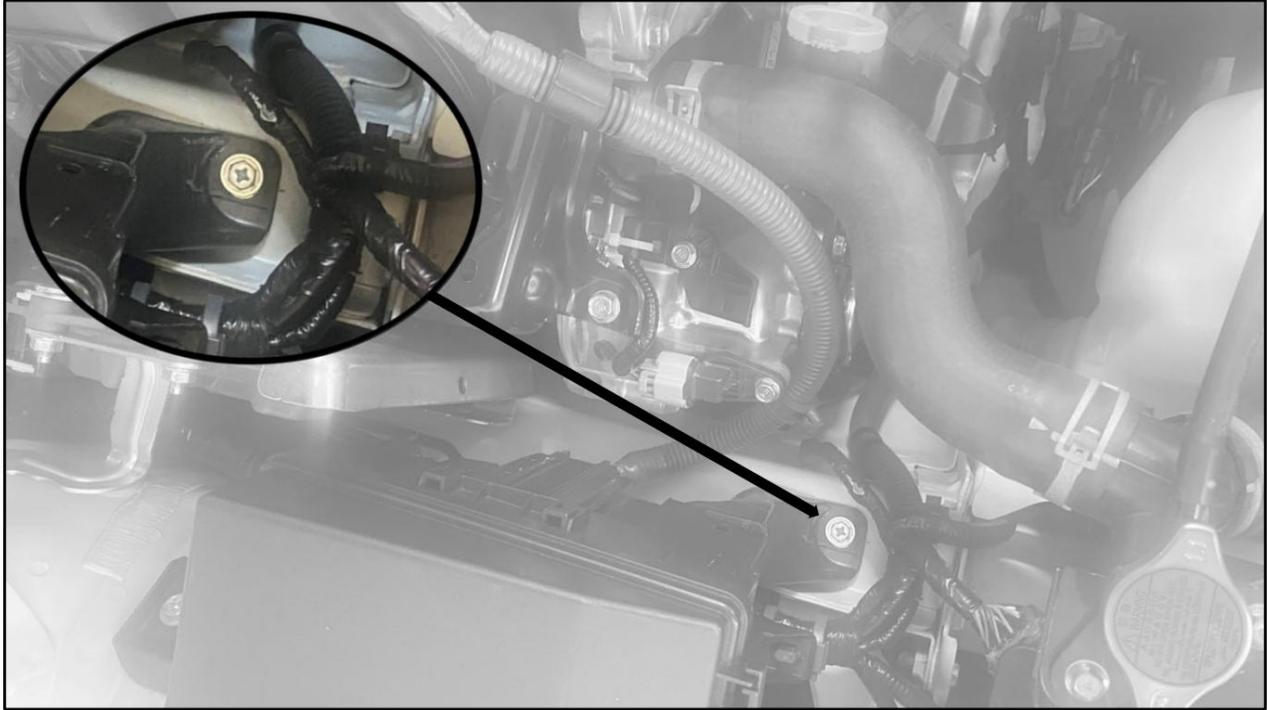
- 1.コネクタ (A)を外します。
- 2.ラムダセンサーソケット、ユニバーサルジョイント、延長部、ラムダセンサー (B)を取り外します。  
ラチェット。

ラムダ センサーは、上の図で円で囲んだように、排気ヘッダーの運転席側、エンジンの前側にあります。



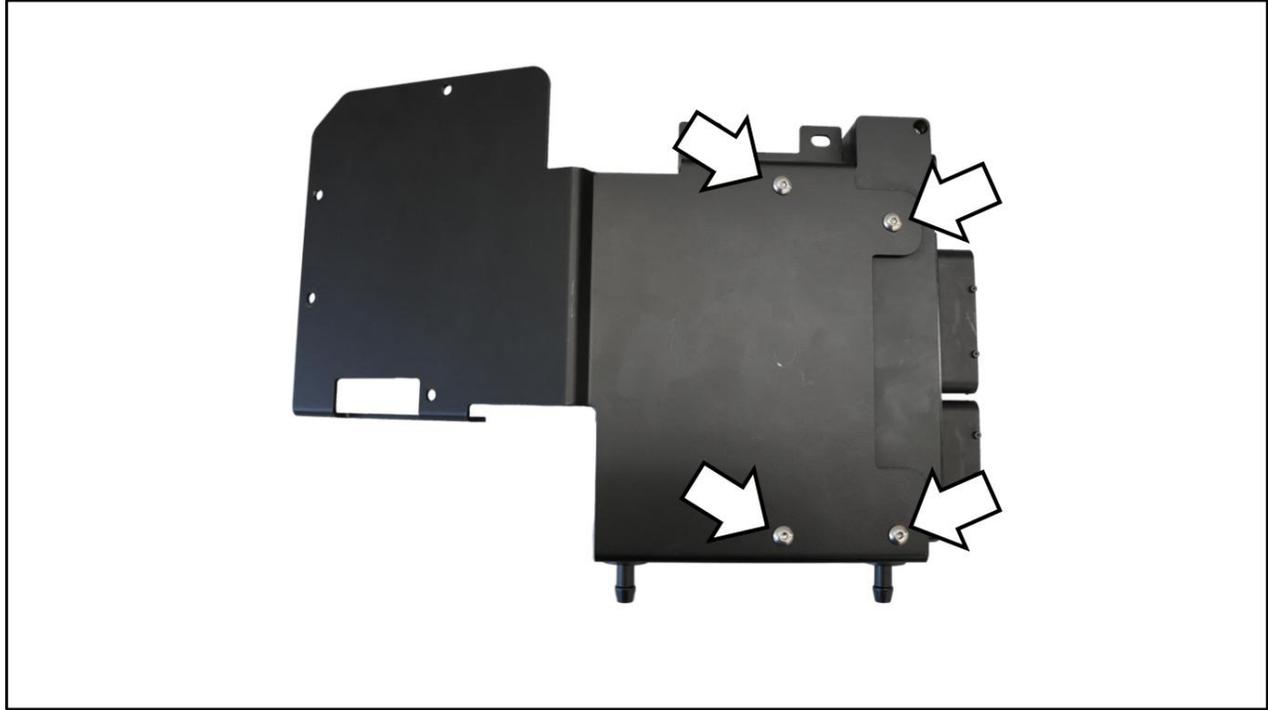
#### ステップ6

OE ラムダ センサーを取り外したら、工場出荷時のセンサーが取り付けられていた排気ヘッダーに付属の Bosch LSU 4.9 ワイドバンド センサーを取り付けてトルクをかけます。



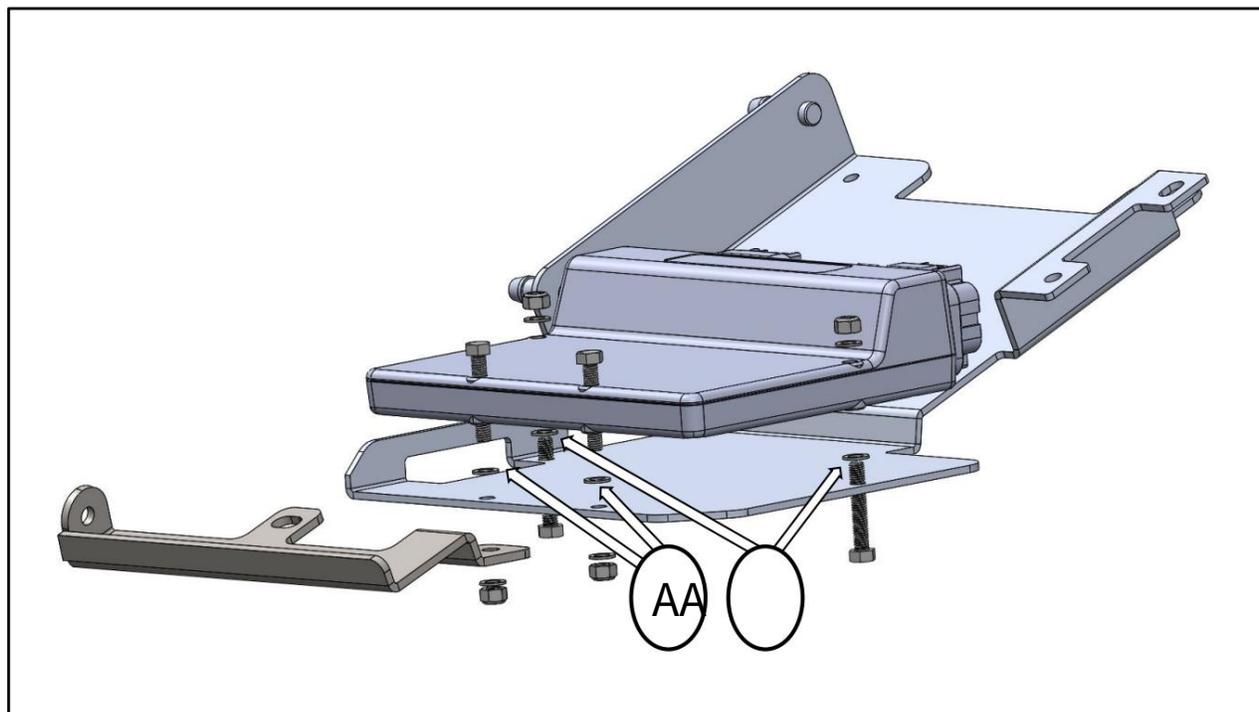
#### ステップ7

ヒューズ ボックスをシャーシに固定している強調表示されたボルトを取り外します。



ステップ8

4 X M5 X 8mmファスナー (12)を使用して、アダプタボックスをマウントブラケットに取り付けます。



#### ステップ9

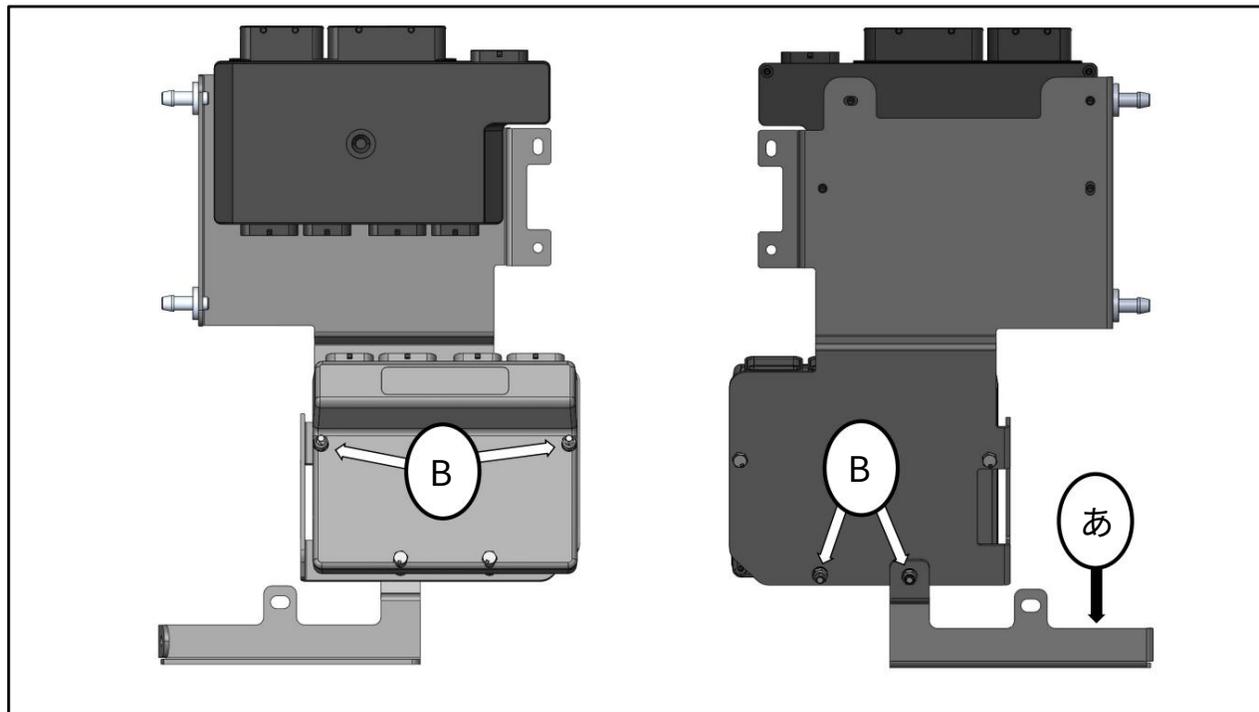
4 x M5 x 30mm六角ボルト (11)をアダプタ取り付けブラケットの背面から2本、前面から2本挿入します。

M142M MoTeC ECUをマウントブラケットのボルトに差し込む前に、各ボルトにM5ワッシャー (14) (A)を挿入します。

これは、M142M ECU とアダプタ取り付けブラケットの間にエアギャップを維持するためです。



A Bosch Company

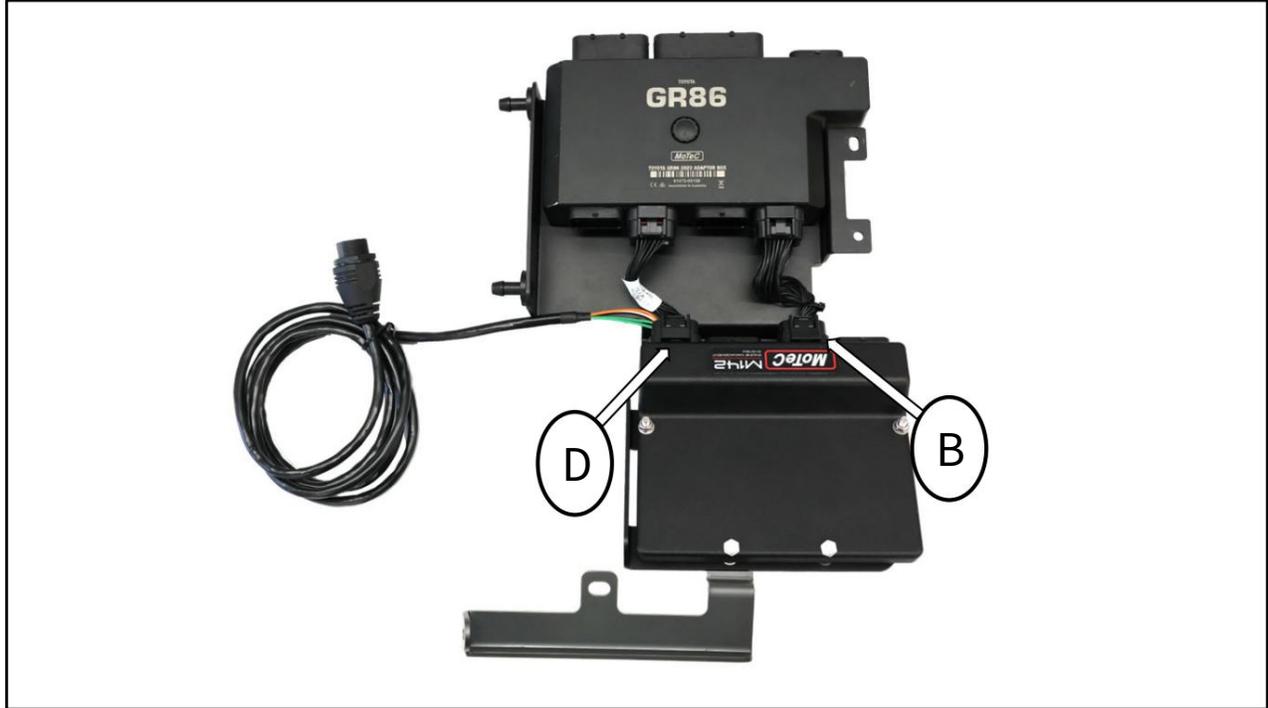


#### ステップ10

サポートブラケット (A)をボルトに挿入します。

次に、付属の M5 ワッシャーと M5 ロックナットをすべてのボルト(B) に取り付けます。

サポート ブラケット(A) を除くすべてのナットを締めます。サポート ブラケットは、正しい位置合わせを確保するために、取り付けの後で締める必要があります。



#### ステップ11

最初に、上記のラベルに従って、B (#61474) および D (#61476) のスタブ織機を挿入します。

**MoTeC**

A Bosch Company



#### ステップ12

スタブルームD (#61476)を接続する際は、イーサネットケーブルの端が上図のようにM1側に接続されていることを確認してください。これにより、M142M ECUとの通信が可能になります。



ステップ13

Stub Loom C (#61475) を上図の場所に取り付けます。



A Bosch Company



#### ステップ14

残りのスロットにスタブ ルーム A (#61254) を取り付けます。



A Bosch Company



#### ステップ15

上図のように、M1 アダプタ LTC ルーム(A)をアダプタ ボックスのブレイクアウト コネクタに接続します。

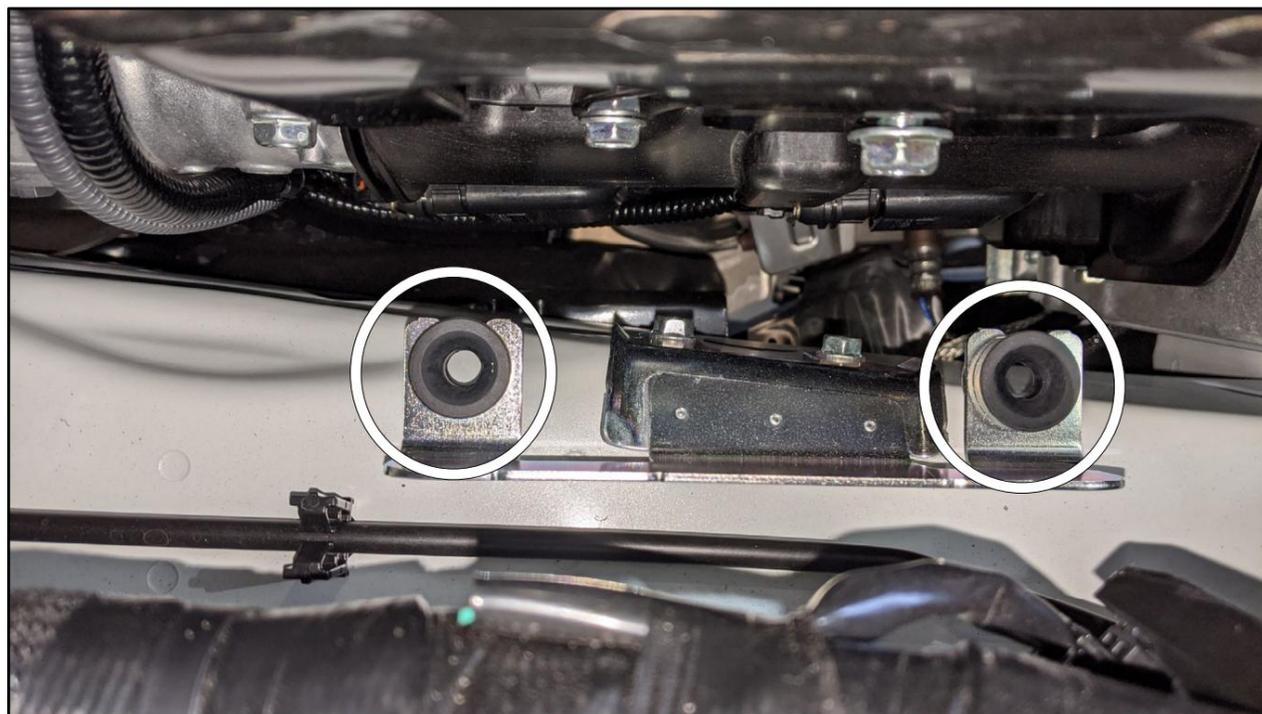


ステップ16

LTC -LSUを4ピンDTMコネクタ (A)に接続します。



A Bosch Company



#### ステップ17

アダプター キット アセンブリを、強調表示された OE ECU 取り付けグロメットに下ろします。

アダプタ キット アセンブリを完全に挿入する前に、OE ECU コネクタを手順 4 に示した逆の順序で接続します。アダプタ キット アセンブリをボルトで固定すると、差し込みにくくなる場合があります。

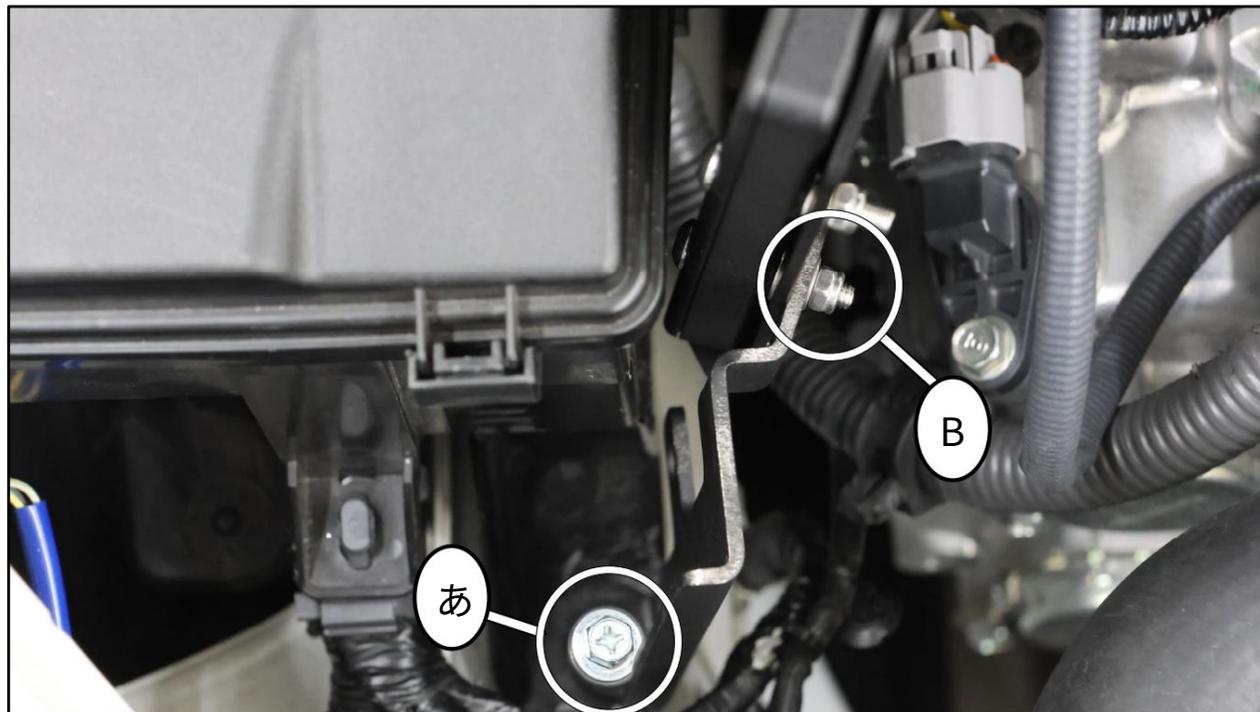


A Bosch Company



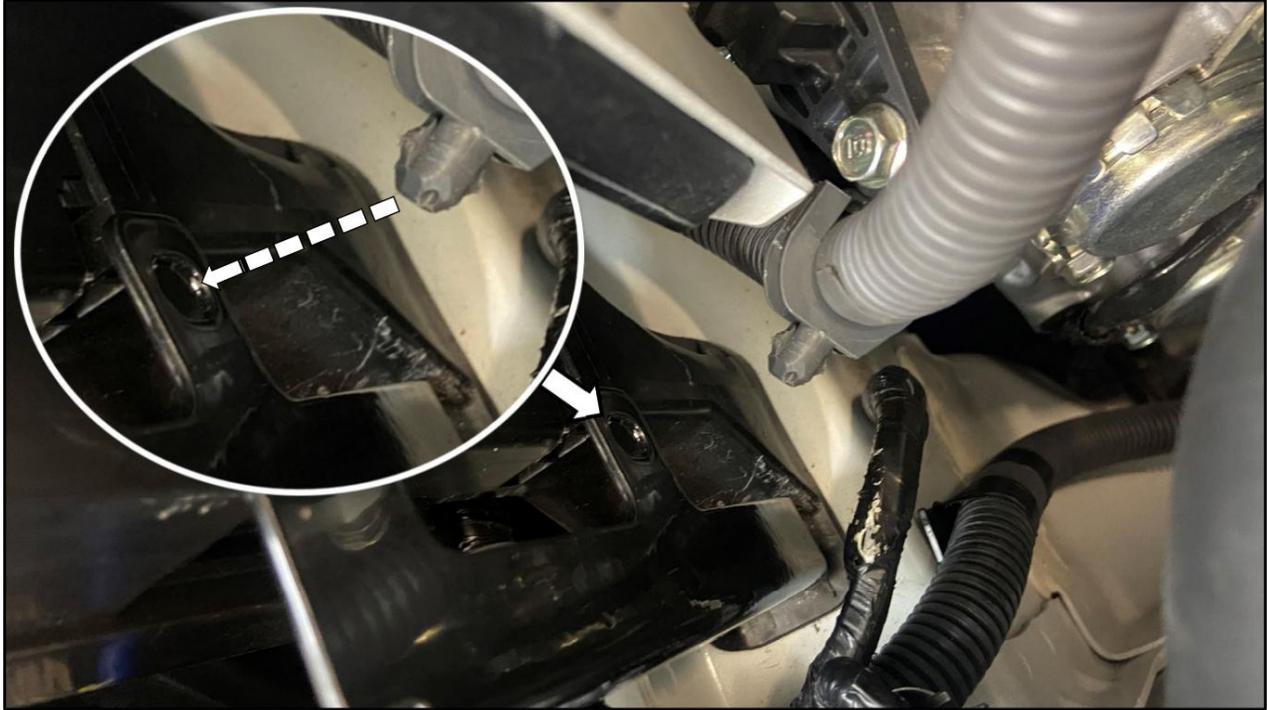
#### ステップ18

上図のように、ステップ 3 で取り外した OE ブラケットを使用して、付属の 2 x M6 x 15mm ボタンヘッド ボルト (13) とステップ 3 で取り外したナットを使用してアダプタ キット アセンブリを固定します。



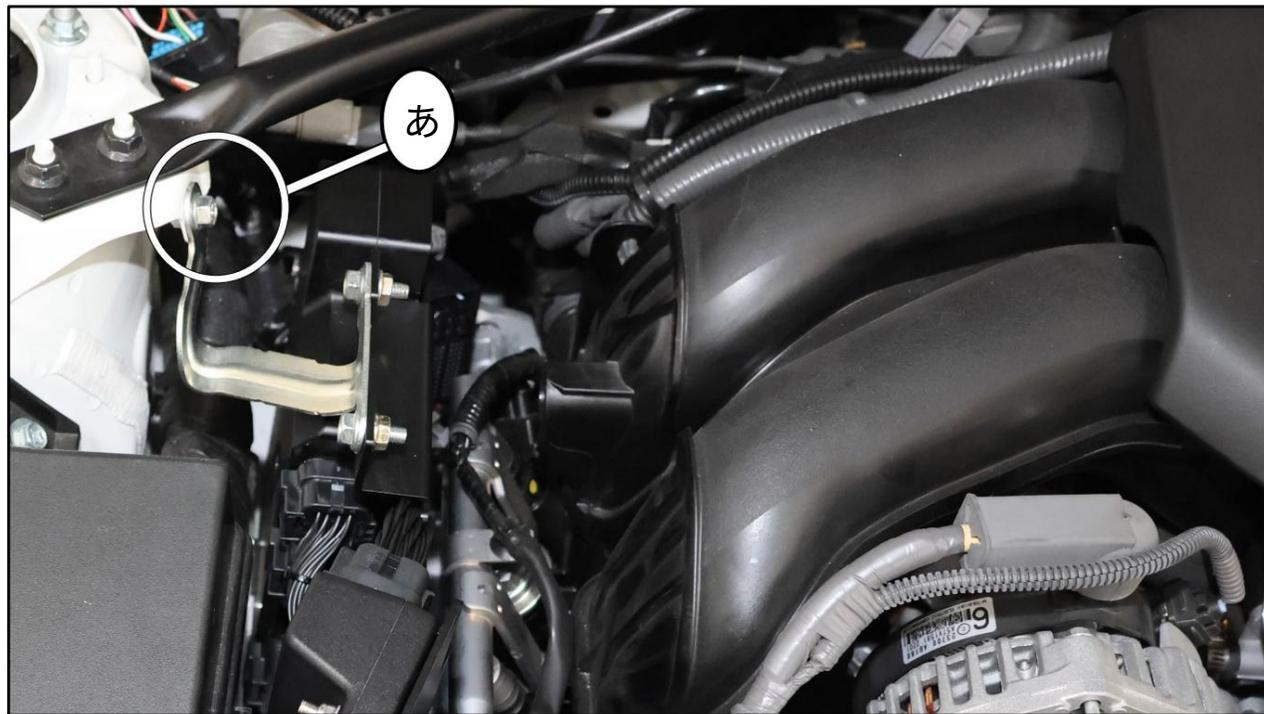
#### ステップ19

付属のM6 x 16mmプラス六角ボルト (18)を使用して、サポートブラケット (A)とヒューズボックスをシャーシに固定し、M5ナット (B)を締めます。



#### ステップ20

手順 1 で外したオルタネーター ケーブルを、上図のようにアダプター取り付けブラケットに取り付けることができます。



ステップ21

手順2で取り外したOEボルト (A)を再度取り付けます。



A Bosch Company



## ステップ22

上図のように、取り付けられたラムダセンサーコネクタ(A)を LTC に接続します。

ラムダセンサーの配線は熱源やファンから離して配線してください。

LTC を確保します。

通信 (イーサネット) ケーブル(B)を、アクセス可能な状態を保ちながら熱源から離して配線します。



インストールが完了しました。